

広島商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	コスト・マネジメント
科目基礎情報					
科目番号	0031		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	産業システム工学専攻		対象学年	専2	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	授業中に指示します				
担当教員	田上 敦士				
到達目標					
(1)経済の基本的な仕組みを理解する。 (2)基礎理論を自分の言葉で説明できる。 (3)実際の経済問題を理解し疑問を究明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	ミクロ経済について、企業、市場、需要、供給などについて概念を整理し、示す事が出来る。		ミクロ経済について概念を整理し、示すことができる。		ミクロ経済について概念を整理し、示すことができない。
評価項目2	マクロ経済について、政府、課税、貨幣、財政、金融などについて概念を整理し、示すことができる。		マクロ経済について、組織の概念を整理し、示すことができる。		マクロ経済について、組織の概念を整理し、示すことができない。
評価項目3	マクロ政策について、GDP、経済成長、景気循環、インフレーションなどについて、概念を整理し、示すことができる。		マクロ政策について、その概念を整理し、示すことができる。		マクロ政策について、その概念を整理し、示すことができない。
評価項目4	国際貿易について、絶対優位と比較優位、貿易の実際、貿易体制などについて、概念を整理し、示す事が出来る。		国際貿易について、マーケティングなどの概念を整理し示す事が出来る。		国際貿易について、マーケティングなどの概念を整理し示す事が出来ない。
評価項目5	実際の経済活動、とくに物流業界、流通業界について、概念を整理し、示す事が出来る。		物流・流通業界について、整理し示すことができる。		物流・流通業界について、整理し示すことができない
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>経済学の観点から、社会の経済活動を分析する視点を学びます。企業やヒトがどのようにコストを管理し、経済活動を行っているのか分析する視点を養います。社会に出ていく上で必要となる幾つかの知識のうち、経済学の知識・理論を学びます。</p> <p>一つ一つの経済主体がどのようなメカニズムで動いているのか、それらがどのように組み合わせたり経済社会をどう形成しているのか。自分たちはどのように活躍していくのかを理解し自らのものとし、社会人として活動するのか、を学びます。</p> <p>授業は座学が中心ですが、講師からの一方通行ではなく、講師と学生の皆さん、また、学生の皆さん同士での議論を通じた成長を目指します。そのために、ケースメソッドを多様した授業とします。積極的な参加を必要とします</p>				
授業の進め方・方法	教員からの一方通行の授業ではなく、学生各自の自主的な参加を必要とします。				
注意点	当然ですが、授業を妨害する行為は、これを禁止します。授業中の発表などを評価します。				
授業計画					
	週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1-(1) 経済学とは何か		経済活動について理解を深め、経済学の意義を説明できる
		2週	1-(2) 希少性と予算制約		経済活動を規定する希少性と予算制約について説明できる
		3週	1-(3) 企業の組織 1-(4) 企業の拡大と成長、と衰亡		企業について、その成り立ちと組織、成長と衰亡について説明できる
		4週	1-(5) 需要 1-(6) 供給		需要と供給について説明できる
		5週	2-(1) 価格 2-(2) 市場構造		価格の決定のメカニズムと市場の構造について説明できる
		6週	2-(3) 政府の歳入 2-(4) 政府の歳出		政府の歳入と歳出について説明できる
		7週	2-(5) 貨幣と銀行		貨幣の役割と銀行、とくに中央銀行の役割について説明できる
		8週	3-(3) GDP 3-(4) 景気変動、インフレ、デフレ		GDPと景気、景気の変動とインフレ、デフレについて説明できる
	2ndQ	9週	3-(5) 経済の安定		経済活動を安定させるために必要な事柄について説明できる
		10週	3-(6) 経済政策		政府の施策としての経済政策について説明できる
		11週	4-(1) 国際経済①理論		国際経済の仕組みについて理論の側面から説明できる
		12週	4-(2) 国際経済②貿易		国際経済について、貿易活動を通して説明できる
		13週	4-(3) 世界経済の仕組み		世界経済の仕組みについて、実際の貿易体制・機関などについて説明できる
		14週	4-(4) 物流業界の研究		経済活動をささえる物流業界について説明できる
		15週	4-(5) 流通業界の研究		経済活動をささえる流通業界について説明できる
		16週	まとめ		経済活動について全般的に説明できる

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	20	20	30	0	30	100
基礎的能力	0	0	0	10	0	10	20
専門的能力	0	10	10	10	0	10	40
分野横断的能力	0	10	10	10	0	10	40